

見本



試験機検査証明書

本証明書記載の試験機は、日本工業規格JIS B 7721によって検査・校正を行い同規格に適合するものであることを証明する。尚、校正に使用した検査装置は国家標準にトレーサブルである。
*****年**月**日

試験機型式	RTF-2410		
秤量とフルスケールレンジ	100 kN	引張	AUTO
製造番号	*****		
製造年月	*****年**月		
所有者	〇〇〇〇		殿
検査場所	〇〇〇〇		
検査年月日	*****年**月**日		
検査・校正結果	別紙、試験機検査成績書及び万能型試験機検査報告書のとおり		
使用検査装置	M-1104_R2	(器物番号 065208	)
	M-1104_R1	(器物番号 065208	)
	M-937_R2	(器物番号 744425	)
	M-938_R1	(器物番号 343318	)

見本

万能型試験機検査報告書
(オートレンジ用)

本体型式	RTF-2410
製造者	株式会社エー・アンド・デイ
検査者	株式会社エー・アンド・デイ
製造年月	****年**月
本体製造番号	*****
指示計型式	MSAT
指示計製造番号	無し
摘要規格	JIS B7721
検査年月日	****年**月**日
検査場所	〇〇〇〇
室温	25.1～25.3℃(測定回毎の温度変動は2℃以内)

1	破断検査	・ゼロ点の戻り値	—
		・構造異常	—
2	最大荷重検査	・駆動部作動状態	優
		・試験力の増減	優
		・指示の脈動	無し
		・最大容量の安定性(維持機能)	優
		・ゼロ点の戻り値	0
3	安全装置検査	・リミットスイッチ作動状態	無し
4	据え付け状態	・振動、衝撃等の影響	無し
		・基礎の状態	優
		・固定方法	優
		・水平度	優
5	その他一般検査中に発見された異常等		無し

6 荷重検査

試験方向	検定レンジ [kN]	使用下限 [kN]	レンジ切替	ロードセル			等級判定	精度誤差 [%]	繰返性誤差 [%]	往復誤差 [%]	零点誤差 [%]
				定格[kN]	型式	番号					
引張	100	0.1	内部にて自動	100	UF-10	*****	0.5	0.24	0.22	-0.63	0.00

使用検査装置	管理番号	型式	器物番号	等級	校正証明書番号	発行年月日
1	M-1104_R2	LC149KN200	065208	0.5	第*****-**号	****年**月**日
2	M-1104_R1	LC149KN200	065208	0.5	第*****-**号	****年**月**日
3	M-937_R2	LC149KN006 圧縮	744425	0.5	第*****-**号	****年**月**日
4	M-938_R1	LC149KN002 圧縮	343318	0.5	第*****-**号	****年**月**日

検査員 〇〇 〇〇



試験機検査成績書 (オートレンジ用)

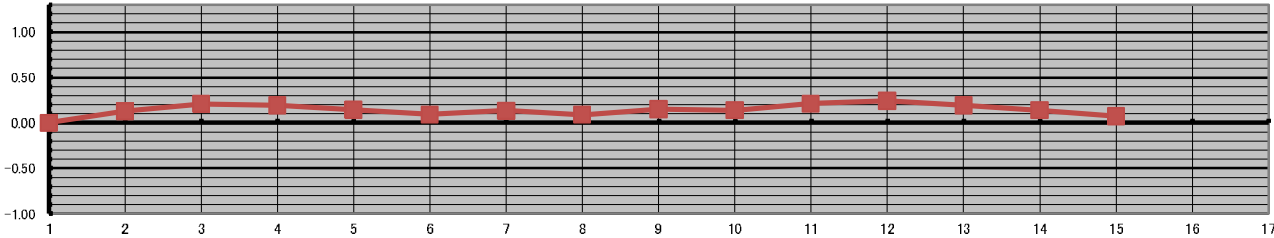
検査場所 ○○○○

見本

発行番号 F-

型 式		番 号		ロードセル型式				番 号		検査日		****年**月**日	
試 験 機 本 体		RTF-2410		*****		UF-10				*****		重力加速度	
荷 重 表 示 装 置		1 MSAT		無し		秤量と単位		100 kN				検査員	
						試験方向		引張					
						温度変動		25.1～25.3℃(測定回毎の温度変動は2℃以内)				〇〇 〇〇 印	
データNo (ステップ)	荷重 Load	測定1		測定2	測定3	増加 平均値 Mean	相対指示 誤差 q(%)	相対繰返 誤差 b(%)	相対往復 誤差 u(%)	相対ゼロ 点誤差 f ₀ (%)	相対分解 能 a(%)	検査装置管理番号 (力計)	力計間の一致性 1級: q1-q2 ≤1 0.5級: q1-q2 ≤0.5
		増加 Inc.	減少 Dec.	増加 Inc.	増加 Inc.								
	0.00	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000								
1													(対象外)
2	0.1	0.0998	0.1002	0.0999	0.0999	0.0999	0.13	0.14	-0.38	0.00	0.03	M-938_R1	(対象外)
3	0.2	0.1998	0.2001	0.1995	0.1995	0.1996	0.21	0.15	-0.18	0.00	0.01	M-938_R1	(対象外)
4	0.4	0.3996	0.4000	0.3993	0.3988	0.3992	0.19	0.22	-0.10	0.00	0.00	M-938_R1	(対象外)
5	0.5	0.4996	0.4994	0.4996	0.4994	0.4995	0.15	0.16	0.04	0.00	0.01	M-937_R2,M-938_R1	0.1-(0.15) ≤0.5
6	1.0	0.9990	0.9994	0.9992	0.9990	0.9991	0.09	0.02	-0.04	0.00	0.00	M-937_R2	(対象外)
7	2.0	1.9976	1.9978	1.9972	1.9972	1.9973	0.13	0.02	-0.01	0.00	0.00	M-937_R2	(対象外)
8	4.0	3.9961	3.9967	3.9967	3.9965	3.9964	0.09	0.01	-0.01	0.00	0.00	M-937_R2	(対象外)
9	5.0	4.9939	5.0039	4.9939	4.9899	4.9925	0.15	0.08	-0.20	0.00	0.00	M-1104_R1,M-937_R2	0.15-(0.08) ≤0.5
10	10.0	9.9863	10.0222	9.9862	9.9862	9.9862	0.14	0.00	-0.36	0.00	0.00	M-1104_R1	(対象外)
11	20.0	19.9574	20.0673	19.9573	19.9593	19.9580	0.21	0.01	-0.55	0.00	0.00	M-1104_R1	(対象外)
12	40.0	39.9010	40.1509	39.9110	39.9010	39.9043	0.24	0.00	-0.63	0.00	0.00	M-1104_R2,M-1104_R1	0.24-(0.24) ≤0.5
13	60.0	59.8749	60.1747	59.9048	59.8749	59.8848	0.19	0.05	-0.50	0.00	0.00	M-1104_R2	(対象外)
14	80.0	79.8975	80.2273	79.8975	79.8775	79.8908	0.14	0.03	-0.41	0.00	0.00	M-1104_R2	(対象外)
15	100.0	99.9498		99.9298	99.8998	99.9265	0.07	0.05		0.00	0.00	M-1104_R2	(対象外)
16													
17													

誤差曲線 (相対指示誤差 q%)

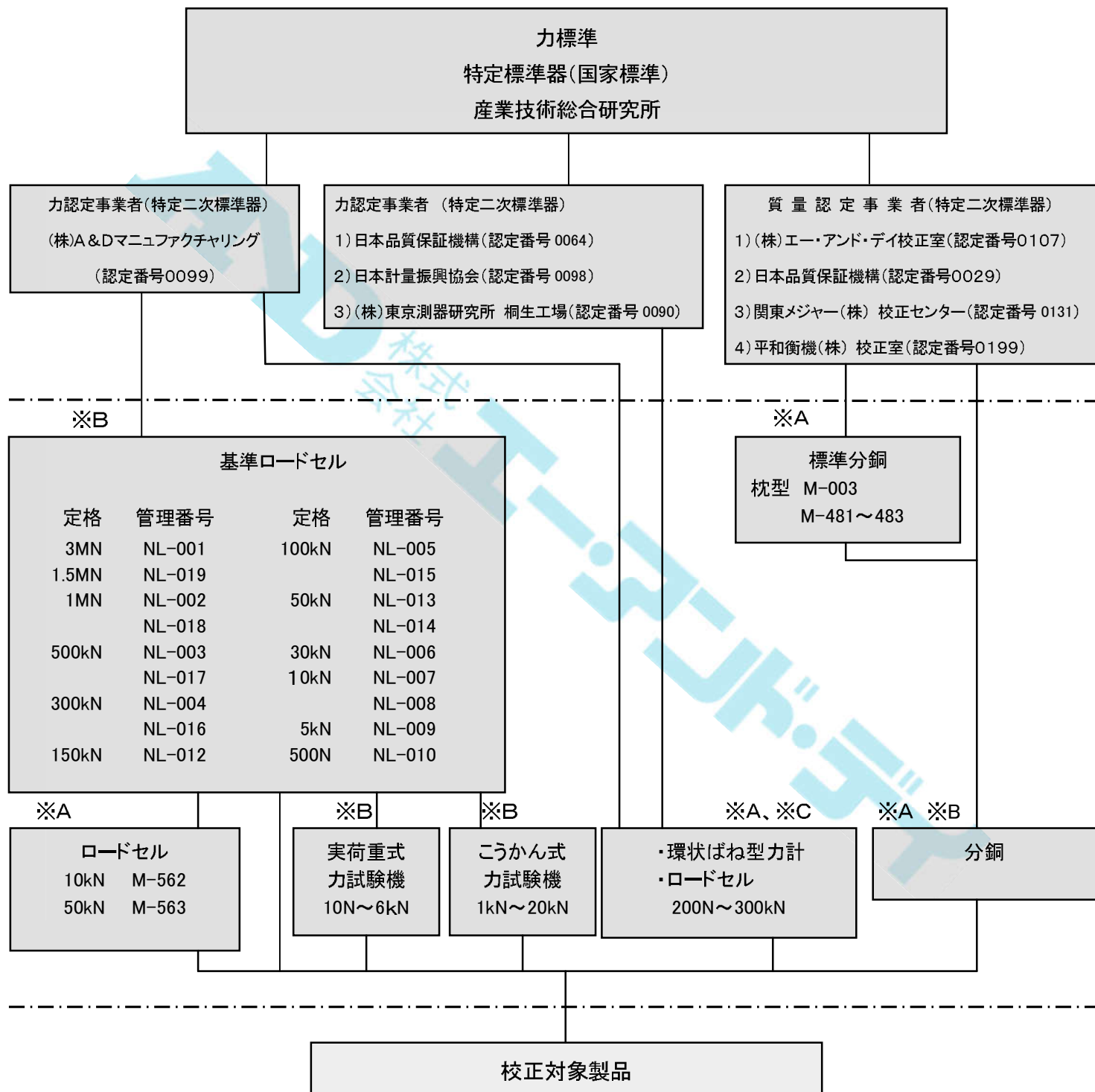


見本



トレーサビリティ体系図(力関係)

標準器・計測器は下記の体系により国家標準にトレーサブルです



備考

標準器の所有者は図中下記の略号で表示

* A: (株)エー・アンド・デイ、* B: (株)A&Dマニファクチャリング 日高事業所、

* C: (株)A&Dマニファクチャリング 深谷事業所